

当社における交通安全啓発活動について

西武バス株式会社(本社:埼玉県所沢市、代表取締役社長:塚田正敏、以下「西武バス」)では、日頃より様々な事故防止対策や、交通安全啓発活動に取り組んでいます。

秋の全国交通安全運動期間中の 2026 年 9 月 26 日(土)には、三井アウトレットパーク入間で開催された「はたらくるま大集合」に参加しました。また、9 月 28 日(月)には柏原小学校において 1 年生を対象とした交通安全教室を開催しました。

○「はたらくるま大集合 2026 in 三井アウトレットパーク入間」に参加

本イベントでは、バスの死角や車内事故の危険性について理解を深めていただくことを目的に、交通安全啓発活動を実施しました。

①死角体験

死角を視覚化したラッピングバスを使用し、バスの死角体験を実施しました。来場者には実際に運転席に座っていただき、運転席から見えない範囲があることを体験していただくとともに、思わぬ飛び出しや一般車の割り込み時の急制動によって車内転倒事故が発生する可能性があることなど、バス特有の危険性について説明しました。



②ノベルティ配布

車内事故防止や死角への注意喚起を呼びかけるボックスティッシュや、死角に関する啓発用クリアファイルを配布しました。



○狭山市立柏原小学校で交通安全教室を実施

本教室は、当社運輸部安全推進課、狭山営業所、狭山市役所および狭山警察署が連携し、地域の子どもたちの交通安全意識の向上を目的として実施しました。

1 年生 3 クラス 82 名が参加し、交通ルールをクイズなどで楽しく学び、実際にバスやパトカーを使った体験を通じて、交通安全意識を高めました。



①交通安全クイズ



交通ルールやマナーに関するクイズを行い、児童のみなさんは積極的に参加しながら、楽しんで交通安全について学びました。

②バスの乗降体験



特別乗車証を使用し、バスの乗降体験を実施しました。児童のみなさんは実際の乗車の流れに沿って、バスの乗り方や運賃の支払い方を学びました。

③バスの死角体験



バスの死角を視覚化したラッピングバスを使用し、運転席から見えない範囲を実際に確認することで、バス周辺の死角について学びました。

④パトカー体験、交通安全講話



狭山警察署の協力により、パトカーの見学や車内装備の紹介、警察官による交通安全講話を通じて、交通ルールについて学びました。

西武バスでは、今後も関係機関や地域社会と連携しながら、交通安全啓発活動を継続するとともに、安全で安心なまちづくりと、誰もが安心して利用できる公共交通の実現に努めてまいります。

その他の事故防止についてはこちらから

車内外事故防止のお願い



死角ラッピングバスについて

車内事故防止
ラッピングバスについて

